

テイラーバレー

77° 37.59' S, 163° 03.42' E ロス海、南ビクトリアランド
特徴

- 南極特別管理地区(ASMA)マクマードドライバレー
- 南極で最も広大な無氷地域
- 長期的変化のための科学調査地域として価値が高い
- カナダ氷河の終端
- ミイラ化したアザラシ
- 砂漠舗装、風食礫、構造土
- 壮大な景観



記述

地形	大部分が平坦で、小さな2つの丘が南の境界線にある。無氷地帯は比較的干渉を受けたことのない砂漠舗装と構造土である。夏季には湿った土壌と小さな沼が氷河の終端にみられる。
動物相	無脊椎動物が蘚類と藻類群生に生息している。節足動物、クマムシ類、ワムシ類、原生動物を含む。ミイラ化したアザラシが微小植物、微小動物にとって重要な生息地となっている。
植物相	まばらな蘚類パッチ（いくつかは目視が困難）と淡水藻類、シアノバクテリアが見られる。
その他	クマードドライバレー中に訪問区域が指定されており、周辺地区の保護を行うと同時に訪問が許されている。

Visitor Impact 訪問者の影響

既知の影響	丘の上の既存の経路とヘリコプター発着場周辺、氷河前縁湖沼。モニタリングと調査マーカーがある。ヘリコプター発着場と地区のテントサイトには目印がつけられている。
可能性のある影響	地表面への干渉（例：別の道が開拓されること、土壌構造への損傷、ヘリコプターの回転翼洗浄）、動植物相への干渉と外来生物の持ち込み。

上陸時の条件

ヘリコプター	離着陸は訪問区域の指定されたサイトで行う 77° 37.59' S, 163° 03.42' E. 発着場の角と中心は黄色の金属板で目印がつけられている。
訪問者	訪問者は訪問区域内にのみ滞在することができる。周辺の環境は保護されている。一度に一つの地域に 100 人以上の訪問者（ガイドや責任者を除く）が訪れてはならない。

訪問区域

上陸地	訪問区域の北東側にヘリコプター発着場がある。
制限区域	訪問区域の外側。

歩行区域ガイド ツアー運営者は一時的なマーカー（旗など）で経路を明示すること。訪問者はガイド付きの少人数の団体に既存の道を利用すること。

自由行動が可能な場所 なし

訪問者行動規範

浜での行動

長靴や装置はサイトを訪れる前に洗浄しなければならない。訪問者は訪問区域を離れてはならず。ガイド付きの団体に決まった道に沿って滞在すること。湿った土壌上、沼の近く、ミイラ化したアザラシから 1m 以内を歩かないようにすること。地区から何も持ち去ってはならない。また、地区に何も残してはならない。全ての廃棄物は除去されること。テントはヘリコプター発着場の近くの指定されたサイトで、安全性確保のためのみ、使用可能である。地区には科学調査用、モニタリング用の装置があるが、干渉してはならない。運営者は ASMA マクマードドライ谷管理計画を熟知しておくこと

注意書き

ASPANo.131 カナダ氷河はテイラーバレー訪問区域からおおよそ 1km 離れた場所にある。正しい発着場の位置を十分確認すること。

